



ROTARY CLUB OF

# NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN

2650

No. 2378

2019. 9. 19

創立 1969年(昭和44年)12月13日

例会日 毎週木曜日18:00より

事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地

例会場 奈良ロイヤルホテル内

TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2019~2020年度  
国際ロータリーのテーマ

2019~2020年度  
地区のスローガン



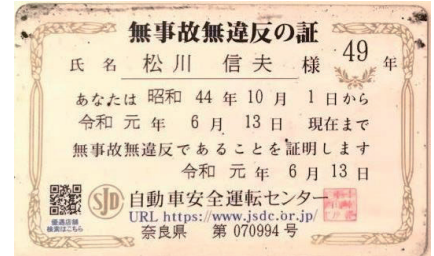
## 伝統と革新 世界はひとつ

国際ロータリー会長 RI第2650地区ガバナー  
マーク・ダニエル・マローニー 佐竹 力總

会長 安井 清悟	副会長 杉村 仁	会長エレクト 佃 尚彦	直前会長 追山 重法	幹事 佐川 寛一
会計 相澤 万裕子	会場監督 井上 直治	理事 植野 洋志	理事 谷垣 嘉輝	理事 金田 宗寛
理事 渡邊 巖	会報委員長 野阪 幸男			



大濱P会長  
ディズニーランドにて孫2人



松川P会長  
49年間無事故無違反の証

今月は基本的教育と識字率向上 ロータリーの友月間です  
第10回(2378回)例会プログラム令和元年9月19日(木)

### 第1回家族親睦移動例会

「蘇洞門めぐりと日本海さかな街」

第9回 (2377回) 例会報告 2019. 9. 12(木)  
ソング

「我等の生業」

#### 出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算 2377 回	45	5/11	19/34	15	61.5%
通算2375回修正	45	8/11	26/34	8	81.0%

#### 会長の時間 (安井会長)

皆様、おはようございます。今年度に入って初めての早朝例会です。毎年8月に行っていたのですが諸般の都合により9月になってしまいましたが、暑い季節が過ぎてお参りをしやすいかなとも思っております。毎日早く起きておられる方は大したことないのですが、私は起床時間が遅いので大変です。早起きは三文の徳と申します。心がけたいものです。

今日は管長様。色々と段取りを頂きありがとうございました。また結構な良寛様と一休様の法話も聞かせて頂けまして感謝いたします。例会後は仙人亭で朝食を頂きまして、そこからゴルフコンペに行かれる方も多くおられると聞いております。良い日和になりそうです。皆様で楽しまれてください。管長様のありがたいお話の後で御座いますので会長の時間はこの辺りにさせて戴きます。ありがとうございました。



こだわらない、とらわれない

良寛さまの生活が清らかで、大変貧しかったこと  
はご存知でしょう。なんと一つの鉄鉢で顔を洗い、  
外から帰ってくるとその鉄鉢で足を洗って、そして  
その鉄鉢でお粥を炊いて召し上がったとのこと。  
なんでも一つの鉄鉢ですまされていたというわけです。  
これほど貧しい良寛さまの住まいに泥棒が入って、  
布団などを盗んだといえます。  
さぞ良寛さまもびっくりされたことと思っていま  
したら、良寛さまはまったくこだわっておられないの  
です。盗まれたことにとらわれない・・・。

盗人に取り残されし窓の月

窓を開けてみたら、真ん丸の美しい月が窓枠の中に  
ポツカリとあった。

”あれっ、盗人め、お月様を盗り忘れていったぞ！”  
良寛さまは無心なのです。こだわらない、とらわ  
れない。私たち現代人が忘れていく「心の持ち方」と  
思われてなりません。

良寛

江戸時代後期の禅僧・歌人・書家。

越後国出雲崎出身。生涯寺を持たず、

法も説かず、無一物の托鉢生活とその人柄

によって人々に感化を与えた。

宝暦8年(1758)〜天保2年(1831)

光陰矢のごとし

「正月早々縁起でもない。杖に骸骨をくくりつけて歩いてるぞ！  
あの坊さん、頭がおかしくなったのか？」

「おーい、坊さん、うちの前では立ち止まらなくてくれ、客がみん  
な逃げてしまおう」

街のあちこちから、お坊さんをのしる声が聞こえます。  
けれど、お坊さんは平気な顔をして相変わらず、

「光陰矢のごとしですぞ！いつの日か、こうなるのですぞ！」

と、骸骨をぶら下げて呼びかけ、歩きつづけるばかり。このお坊さん  
は、トンチで有名な一休さんこと一休宗純禅師です。

ほんとうに私たちは、今日がだめでも明日があるさと、ついつい  
甘えた生活をしがちです。けれど一休禅師が骸骨を持って示された  
通り、いつの日か、いいえ明日にでも、この世に別れを告げることに  
なるかもしれません。ならば、今生かされているこの命、なんとあり  
がたく、よもや無駄使いはできません。

光陰矢のごとし。今というこの時を大切に生きることが、明日へ  
とつながることになるのです。

一休宗純

室町時代中期の臨済宗の僧。宗純は諱、号は狂雲。一休は字。

後小松天皇の落胤といわれる。京都・大徳寺の住持。詩・

狂詩に巧みで、書画も有名である。禅院の腐敗に対して、

奇行とも思われる抗し方を行った。現代では伝説化され、

小説や戯曲に描かれている。

明徳5年(1394)〜文明13年(1481)

## 第1回内輪会



2019年9月12日 飛鳥カンツリークラブにて

優勝 中井会員 おめでとうございます



## ニコニコ報告

### 安井清悟会長

今日は東山管長様、お世話になります。ありがたい法話聞かせていただき感謝いたします。

### 津山初雄P会長

早朝例会、朝粥を楽しみに！！

### 野阪幸男会員、小松玲子会員

東山さん、いつも早朝例会ありがとうございます。今朝は少しすずしくて、霊山寺の緑も深く、気持ち良いです。

### 入江啓方会員

早朝例会初参加、楽しみです。家内への誕生日プレゼントありがとうございました。



第1回内輪会(続き)



第11回 (通算2379回)例会予告  
例会日 令和元年10月3日(木)

理事会

第1回クラブデー  
「美並会員の卒寿を祝う会」  
あやめ館にて

※9月26日(木)は休会です